

令和2年6月11日

保護者様

吉野ヶ里町立東脊振小学校
校長 林 寛

「新型コロナウイルス感染症」防止対策と「熱中症」予防対策等について

梅雨の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動についてご協力をいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、本校でも、マスクの着用、手洗いの励行、ソーシャルディスタンスの確保、3密を避けるなどに取り組んでいるところです。あわせて、梅雨の時期を迎え気温が上昇していく中、熱中症予防にも努めていく必要があります。

そこで、新型コロナウイルス感染症と熱中症の予防対策として、下記のような対応をまいりますので、保護者様のご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 校舎内での活動はマスク着用を基本としますが、登下校中は、外であることと気温上昇による熱中症予防の点から、マスクの着用はしなくてもよいとします。登下校時には人との距離を保ちながら歩くという指導を続けます。
- 外での活動（休み時間や体育、校外学習等）でも、人との距離を考えながら、上記と同じ理由でマスクを外して活動してよいとします。
- 屋内では、エアコンを使用しながら熱中症対策をしていきます。ただし、窓は閉め切らず、各窓の一部を開けながら授業中の換気に努めます（本校のエアコン使用時は換気扇が同時に稼働する仕組みになっています）。
- 登下校や外での活動の時は、帽子を着用させます。今後の暑さによっては、安全面について注意させながら、つばの広い帽子や日よけ用のかさ（日傘）の使用も認めます。
- 毎日、暑さ指数（WBGT）を確認し、警戒レベルをこえる場合は、外での活動時間（体育の時間や休み時間を含む）を短くしたり、避けたりします。
- プールでの学習では、換気ができ、広い図工室等を更衣室として使用します。また、タオルは間隔を取ってフェンス等に掛けるようにして個人で管理させ、他の人のタオルを触らないようにさせます。また、授業では、多人数が一斉にプールに入らないように、グループを作り、使うコースを分けたり、ローテーションしたりしながら人と人との間隔を取らせます（テントを2張設置し、プールサイドで待つ場所を確保しています）。
- マスクの着用により、のどの渇きを感じにくくなったり、汗をかきやすくなったりするため、毎日、必要な大きさの水筒やタオルを持たせるようにしてください（外で活動する際には水筒を持たせ、活動の合間にこまめに水分補給をするよう指導します）。

※ご心配なことがあれば、いつでも学校にご相談ください。